



<別紙 2-3>

グローバルキャリア・コース
海外フィールドトリップ（キプロス）の概要

このフィールドトリップは国際機関での職務内容に関する意見交換や現地視察を通じて、国際機関で勤務する具体的なイメージを持ってもらうことを目的とします。フィールドトリップではスタッフ引率の下、少人数グループに分かれて国連各機関を訪問します。

トルコ南方の地中海に位置するキプロス島は、1960年にキプロス共和国として英国から独立しましたが、ギリシャ系住民とトルコ系住民との間で対立が激化し、1964年から国連平和維持活動（PKO）が展開し、1974年のトルコの軍事侵攻以降は、ギリシャ系とトルコ系地域の南北分断状態が継続しています。1983年に北部トルコ系地域は、「北キプロス・トルコ共和国」として一方的に独立を宣言しましたが、トルコ以外の国際社会は同地域を国家承認していません。そうした中、南北間の緩衝地帯に国連 PKO (UNITED NATIONS PEACEKEEPING FORCE IN CYPRUS- UNFICYP)が展開しています。現存する国連 PKO のなかではもっとも息の長いものの一つです。このフィールドトリップでは、紛争によって分断が続くキプロスでの国連 PKO (UNFICYP) による具体的な取り組みと Office of Special Advisor to the Secretary-General on Cyprus による国連の仲介 (Good Offices) を通しての和平交渉の実情を見聞することを目指しています。

カリキュラム(2019年11月7日～11月13日)

日程	場所	内容
11月7日(木)	東京発	東京夜発
11月8日(金)	ラルナカ、Pyla村等	キプロス/ラルナカ朝着 Integrated Office in Pyla (UNFICYP Civil Affairs, UNPOL, UNMO, Sector 4) 訪問、日本大使館訪問
11月9日(土)	グリーンライン、ニコシア	UNFICYP 緩衝地帯ツアー、現地政府関係者との懇談、キプロス市民社会との交流、国連職員との懇談会
11月10日(日)	ニコシア	UNFICYP が支援する Bi-Communal Activity 視察
11月11日(月)	ニコシア	UNFICYP 訪問 (複数の部署でブリーフィング)、国連事務総長特別アドバイザーオフィス訪問
11月12日(火)	デネイア、デリネイア	Integrated Office in Deneia (UNFICYP Civil Affairs, UNPOL, UNMO, Sector 1)訪問、Checkpoint in Delynia (Intercommunal Center)視察 キプロス/ラルナカ夜発
11月13日(水)	東京着	東京夜着

フィールドトリップ参加費

合計約 20 万円 (含む航空券、海外旅行保険、宿泊費、現地移動費)

(内容については変更の可能性があります。)